

特殊銅合金メーカー、三芳合金工業（埼玉県三芳町）の溶解工程では日夜、3人1組が約2時間に1度のペースで真っ赤に溶けた銅を鑄型へ注ぎ込む。その温度は1200度～1300度C。容量約1トンの溶解炉を傾け、耐火装備で身を固めた現場技術者が慎重に作業する。萩野源次郎社長は「温度や量、タイミング、合金成分の違いなど数多くの管理項目がある。常に今の条件が本当にベストなのか、探っていけないといけない」と強調する。

三芳合金工業

温度・量・タイミングをベストに



溶解炉を斜めに傾け、熱く溶けた銅合金を鑄型に注ぎ込む